

(試験区分)	(受験番号)	フリガナ	(年齢) ※面接日時点
		氏名	

【あなたの強みは何ですか。また、それをいかして特別区でどのような仕事に挑戦したいか、志望動機も含めて具体的に書いてください。】 ※面接の冒頭に3分程度でプレゼンテーションしていただきます。

私の強みは積極性とそれに基づく行動力です。特別区では、アニメーションを活用した広報活動に挑戦したいです。特別区は国内最大のアニメ関連企業集積地であり、アニメ文化と関わりが深いと思います。そこで、企業とも協力しながら、映像を用いた情報発信を行うことで、区民にとって目につきやすく、分かりやすい広報を実現したいです。

もう少し小さな字のほうが読みやすいです。

書くスペースが狭いので、特別区の紹介は最小限にしてください。

「協力」という用語より「連携」などのほうが適切です。

【今までに、あなたが最も困難だと感じた出来事はどんなことですか。また、どう乗り越えましたか。】

大学主催の経済合同ゼミナール大会でプレゼンテーションを担当したことです。どのような発行を行えば、多くの聴衆に信じるプレゼンを行うことができるか、私たちの班の大きな課題でした。そこで私たちは二点の工夫を行いました。一点目は、初めて聞く人にとってわかりやすい説明方法。二点目は当日の伝え方です。その結果として、私たちは優秀賞を獲得しました。

具体性を出すために、何年生のときか明示してください。

課題の説明をもっとコンパクトにしてください。

乗り越えた経験に班の協力を加えられませんか？

二点目の説明が弱いので、一点目だけに集中させた内容にしたほうが明確な内容になります。

【チームやグループで活動した経験において、あなたの役割と、独自のアイデア等によってどのような貢献をしたか具体的に教えて】

塾講師のアルバイトでは、組織に生じる課題を自ら見つけ、解決に向けて行動することで授業の質の向上や生徒数の増加に貢献しました。具体的には、生徒たちの課題や授業態度など、それぞれが気づいたことを一冊のノートに書き込んでいくことで、講師間の情報共有に努めました。この経験から、課題に対してチームで協力する大切さを学びました。

スペースが狭いので、一般論 具体論という流れではなく、最初から具体的な内容を書いてください。ここでいうと、「具体的には～」に相当する内容から書き始めてください。

単に情報共有がチームに役立ったという内容に終わっています。どのようにチームを動かせたのかも記載してください。

学生生活 (直近のもの)	最終学歴と卒業年 (見込みを含む) ( 高校・高専・専門学校・短大・大学・大学院 ) 平成 年 月 卒業	専攻学科 (記入できる方のみで結構です。)
	職種・仕事内容【例・建設業 (営業職)】	
(アル) ※直近のものから記入。		年 月 ~ 年 月

全体としては具体性もあり、読みやすい内容にまとまっているので、大きな問題は見当たりません。冒頭で指摘したように、字をもう少し小さくして、少し情報量を増やすことも可能ですので、可能であれば具体例を増やしたり出来ないかどうか、さらに検討してみてください。

※必要事項を記入のうえ3部コピーをして、第2次試験当日に原本と一緒に提出してください。  
※口述試験時、面接カードを見ながら受験することは認めません。